

オリーブ通信



2014年
2月号
2014.
2. 8発行
第148号

<http://www.ne.jp/asahi/olive/kusatsu>

最近のオリーブ

寒い冬のこの時期、例年、寒さのせいかな生徒さんが少ないのですが、今年は大盛況！ このところテーブルもほぼ満席状態が続いています。近年は、ベトナム、中国、フィリピンの方が多く、その生徒さんの多くは日本語能力試験を目指して熱心に勉強しておられます。入会されて間もない先生は、そんな熱心な生徒さんを教えてみて「質問されても、すぐに答えられないですね。いやあ、日本語を教えるって難しいですね。」と洩らされていました。

生徒さんのレベルは微妙に違ったりします。日本語の会話や文法レベルが同じでも、漢字圏（中国）の方と非漢字圏の方と

一緒に授業するのは、なかなか大変なものです。また、英語や漢字という共通語があると、コミュニケーションも取りやすいのですが、そうでない場合は、四苦八苦です。日本語もあまり話せなくて、母語のわかる人もいなくて…となると、オリーブでの悩みを言おうという意欲は薄れてしまうのかな、と感じます。

しかし最近では、中国人のスタッフがいたり、集団で入会されるベトナムの生徒さんの中には1人は日本語が話せる人がいたりするので、その人を介して生徒さんの要望がこちらに伝わることも多くなりました。スタッフの数は限られているのでなかなか叶えられない要望もありますが、スタッフ全員が一生懸命その要望に答えようとしてくれる、最近のオリーブはそんな熱い感じですよ。（外から見ている…入会班 小春）



1月25日の日本語教室風景

中川先生のへんてこ日本語

④3

ひとつ、ふたつ

先日デパートで、若い店員さんに売り場を尋ねたところ、「イッコ下のフロアです」と言われた。どうもしっくり来なかつたので、階をふたつ下り、今度はやや年配の店員さんに尋ねたら、「ひとつ上の階です」と返ってきた。

近ごろ、ひと昔ふた昔前に比べて、大和言葉の美しさが薄れているようだ。「あの人は私よりイッコ上だ／下だ」などと言う。「二揃い」が「ワンセット」、「三つ揃い」が「スリーピース」となってしまうのは、美しさどころではない。一重、二重（ひとえ、ふたえ）と読まれてこそ美しい。

家賃は、（ひと月／一か月）5万円です。

読者諸氏なら、どちらを選ぶだろうか。

日本語試験の問題に、「半月前に日本へ来ました。」

というのがあったが、「はんつき」と読めば期間、

「はんげつ」と読めば、「満月、半月、三日月」などの

月の形状を表すことになる。

この手の漢字読み替えは、日本語学習者にはかなり難しい。

反対にホテルのフロントでは、「おひとり様、おふたり様」、「ひととはく、ふたはく」と確認される。そのほうが聞き間違いが少ないからだろう。「ごいちめい様ごいっぽく」と言われるよりも「おもてなし」を感じるのは筆者だけだろうか。

研究室を訪ねてきた留学生が、「昨日（きのう）は、私の誕生日（たんじょうにち）で、私も三十路（みそじ）になりました。」と言ってきた。（つまらないものではあるが）飴を「ひとつ」プレゼントした。





私が日本語教師になりたいと思ったそもそもの理由は、海外で暮らしてみたいという単純なものでした。大学を卒業してから希望していた証券会社に入社したものの、社会の荒波にもまれまくり、ぬるま湯育ちの私は毎日辞めたいと思いながら働いていました。会社は辞めたくて仕方がないが、これと言って他にやりたい仕事もない。今考えたらどうしようもない若者だったのですが、入社3年目あたりから周りの人がワーキングホリデーで海外へ行き出した事もあり、子供の頃に憧れた海外暮らしをしてみたいという想いが強くなりました。同世代の方ならご存知かもしれませんが、昔『海の向こうで暮らしてみれば』というテレビ番組をやっていて、私は毎週それを見て育ったのです。



何とか理由をつけて会社を辞め、とりあえず実家へ帰って働いて、お金を貯めて海外へ行こうと思いました。

ですが、それがいけなかった。とりあえず働いた職場の居心地が良く、のほほんと働いている間にワーキングホリデーの年齢制限を超えてしまったのです。そこで、語学留学ではなく海外へ行くには？と考えて見つけたのが日本語教師でした。

それから養成講座を受講し、受講している間に、海外へ行きたいという気持ちより日本語教師になりたいという気持ちの方が大きくなっていきました。

無事に約1年間の講座を修了しましたが、その時の自分の状況や不安な事ばかりを考えてしまい、結局その後約3年間、講座受講前と同じ仕事を続けました。

では、なぜその後また日本語教師になろうとしたのかと言うと、少し大袈裟ですが、これから先何十年とあるだろう自分の人生を考えたからです。

私の年齢だと、社会に出で1●年、ずっと同じ仕事をしていればそれなりのキャリアを積んでいます。ところが私は、その時その時の感情や状況に流されて、思っていた事を何も実現せずただ安穩と生きてきて、自分は何も持っていないと思えました。証券会社を辞めてからは派遣社員でしたが、安定していたしそれなりのお給料も貰っていました。でもこの先を考えると、何もない自分しか見えませんでした。ですから、スタートは遅いけれど、今しなければいつやるの？の気持ちで、オリーブの門を叩きました。3年間日本語関連の事を何もしていなかったのも、本当はボランティアで日本語を教えるのも怖かったです。

でも、良いご縁をいただいて現在の職（SHIPSの日本語教師）に就く事ができ、あの時思い切って本当によかったと思っています。

日本語教師は本当におもしろい仕事です。何が？って聞かれると困ってしましますが、おもしろい仕事なのです。

今教えている生徒さん達は、地域に住み働いている方々です。日本人の親戚ともっと話したい！社内試験に受かって正社員になったからもっと日本語を勉強したい！運転免許を取りたい！日本にずっと住みたい！そんな声を聞くと、何だか嬉しくなります。私が教えている事より、生徒さん達から教わっている事の方が多いんじゃないかなと思います。

もちろんまだまだ分からない事だらけで、準備も授業もてんでこまいですが、私は少しずつ、じりじりとこの仕事でキャリアを積んで年を取っていきたくと思います。最初のきっかけ、海外で暮らす夢は実現しそうにないけれど、日本に住む外国人の人たちと一緒に日本語を勉強していきます。

(小島 裕子)



教えることって???

「生徒として、講師として。」

平岡満喜

変わらず、ワタクシも忙しい毎日を送っています。

そのワタクシも英語のレッスンを受けています。ふつうの生徒としてです(笑)。

語学力アップはもちろんですが、学ぶ立場を体験することも重点をおいて出席しています。

自ら生徒になることで、「教わる」とはどういうことかを「学ぶ」ようにしています。

そこから、レッスンに取り組む講師の姿勢や、授業の導入方法、クラス全体を引っ張っていく魅力など、毎回多くのことを学ばせていただいています。

ワタクシの先生は教師歴 20 年近くになられます。クラスを楽しい雰囲気させる力があり、レッスン時間があつという間に過ぎてしまいます。

「もっとこの場にいたい!」、「もっとレッスンを受けて!」という思いになります。

また、いつも忍耐強く生徒(ワタクシ)の話を聞いてくださったり、心遣いをしてくださり、一生徒として、「大切にされている」という嬉しさがこみあげてきます。

さて、

「ワタクシのレッスンはどうかしら?」といつも反省してしまいます。

いろいろと準備をしたり、心を整えてレッスンに入りますが、ときどき必死になりすぎてしまい、余裕がなくなったりします。生徒と良い時間を過ごせたらどうか…とったりもします。

次はもっとこうしよう、ああしよう!と反省しつつ、そして、引き続き英語を学びながら講師としての自分を立てあげていきたいと思ひます。



ただいま! 復帰組です!



8月から入会・受付として復帰した吉田です。高校の時に南米に1年間留学をしていたのですが、言葉がわからずとても苦労し、多くの方に助けてもらいました。

日本に戻ってから、自分も何か恩返しをしたいと思いオリーブに入会しました。入会したのが高校生の時でしたから、もう13年も前のことになります。オリーブがきっかけで、日本で暮らす外国の方に興味を持つようになりました。それまでは、みんな「外国の人」とひとくくりにしていたのですが、いろいろな背景があって来日されていることを知り、自分が何も知らないということにおどろきました。オリーブは自分が日本語を教える場でもありましたが、同時に学習者さんから日本のこと、母国のことなど様々なことを教えていただく場でもありました。仕事の関係で退会をしたのですが、最近めでたく?部署がかわり復帰することができました。

最近、学習者さんがどんどんお友達を連れてこられて、オリーブもにぎわっていますね。みなさん、オリーブのことを気に入ってくださったんだなあ、とうれしく思います。入会される方に、初めにどんなことがしたいのかお尋ねするのですが、「会話を中心にしたい」「来年日本語能力試験を受けたい」など具体的に強い意志を持っておられびっくりします。中には研修生など短期間しか日本に滞在されない方もいらっしゃいますね。毎日仕事に勉強に大変だと思ひます。勉強だけでなく、ちょっとした会話などから楽しい思い出を日本で作ってもらえたらいいですね。受付は、全ての方と関われる場所なので、少しずつ交流ができるように頑張りたと思ひます。みなさま、これからもよろしくお願ひします! (吉田瑛美)





先月の活動(1月)

日本語教室 1/11(M), 18, 25 (3回)
 BNN 会議 1/18 (土) (納谷)
 まちセン運営協議会施設部会 1/16(木) (田中一)
 KIFA パーティ 1/19(日) (招待参加 豊村、中西)

- 日本語教室の(M)は定例ミーティング
- ()内は参加者、または 参加予定者。敬称略



今月の活動予定(2月)

日本語教室 2/1, 8(M), 15, 22 (4回)
 BNN 会議 未定 (納谷)
 まちセン運営協議会施設部会主催『国際文化交流会』
 協力 2/8 (土) (田中一、生徒6名:スピーチ&座談会)
 まちセン運営協議会全体会 2/20 (木) (田中一)



お知らせ

参加人数 (1月)

	1/11	1/18	1/25
先生	15人	17人	17人
生徒	21人	18人	22人

『授業を体験しよう! 春の特別講座』

2/18(火) 日本語再発見～あなたはネイティブ・スピーカー～

私たちは日本語をどれだけ知っているといえますか?

3/10(月) 対象言語学(日中)1

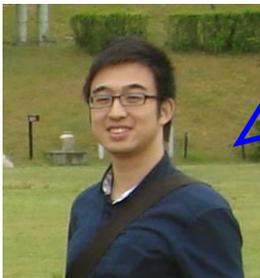
日本語と中国語の違いを、具体的な文例・事例などを用い、文化的背景にも触れながら比較対照していきます。

時間:18:30~20:00 費用:各1000円

申込:大阪 YWCA 専門学校 日本語教師養成講座 06-6361-2955

合格おめでとう!!

N1合格 楊 浩さん
(中国)



12月に東京に転勤された楊浩さんよりN1合格の報告をいただきました。
(元・田中三千彦さん班)

お陰様で、私のN1はようやく合格しました。

語彙は苦手ですが、いろんな勉強方法を使って点数を取りました。

個人の感想としては:

- 1、時間を掛けて本を読むこと、
- 2、日本の映画とドラマを見ながら楽しみで学ぶこと、
- 3、受験スキルも少し必要だと思います。

(例え、受験時間を十分利用のスキル、聴解内容を全て覚えるのスキルなど)

4、一番大事なことは、自弁の努力と積極的な心の力が必要だと思います。

これで満足して勉強を止めるのはできません、

これからも、仕事用のビジネス日本語をもっとうまく話すように、書けるよう頑張りたいと思います。

今まで、オリーブの先生より貴重な知識をいただき、心より深謝しております。

ありがとうございました。

2014. 1. 31 楊 浩

会員の動き(1月)

<入会> なし

<退会> なし

<賛助会員> なし

編集後記

オリーブ通信を作るにあたり、いろいろな人に記事をお願いしています。読ませていただくと、当たり前のことですが、文章ってそれぞれに特徴があって、おもしろいなあと感じます。読むと引き込まれていき、あっという間に読める物。そんな文章に出会うと、「何で読みやすいのかなあ」と考えます。

難しい言葉が使われていると立ち止まる、長い文章だと前に戻って読み返してしまう…

だから、そうじゃない文章が私にとっては読みやすい文章です。でも、それ以外に別の何か魅力があるのです。いろいろな人の文章を読んで研究する日々です(笑)。(こはる)

